

## 輸出事業計画

※申請者名：丸京製菓株式会社 品目：菓子

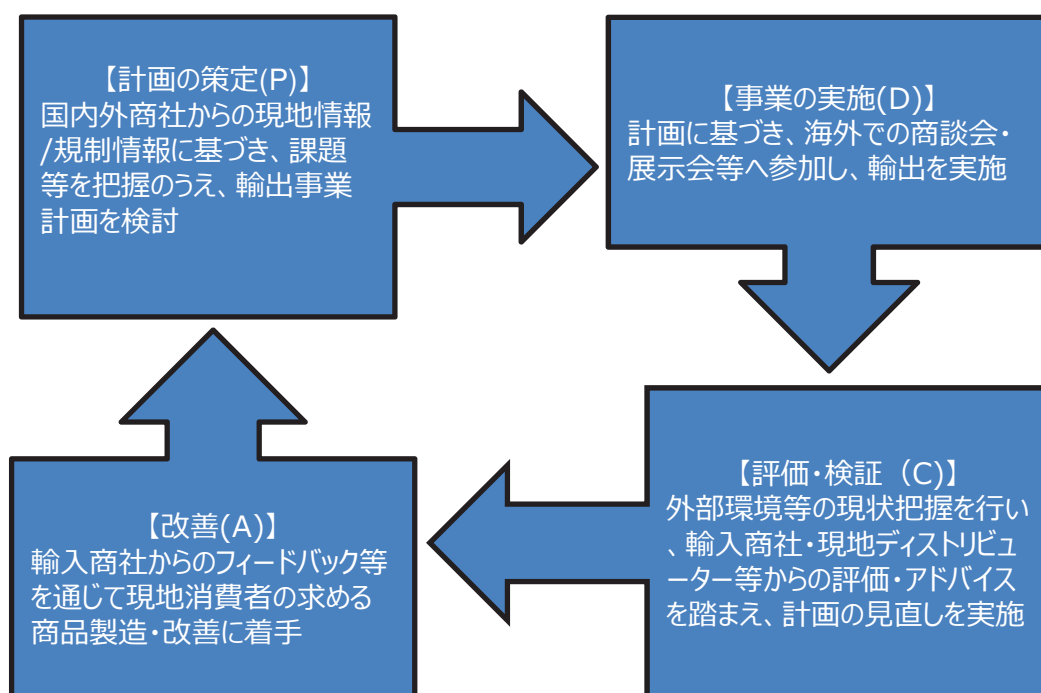
### 1. 輸出における現状と課題

- 20か国以上へ輸出しており、北米への輸出額が約4割を占め、次いで輸出額が大きい順に中国（香港含む）・EU・韓国・東南アジア・豪州と続く
- 輸出品目は和菓子が中心であり、どら焼きが7割で残り3割は饅頭系の商品である
- FSSC22000等の国際認証取得・監査対応や、各国の輸入規制対応において、資金力のある大手メーカーと同様の対応が困難であることから、商品の優位性を生かした輸出チャネルの選択と集中が必要
- 輸出拡大には輸出先における、あんこを始めとする「日本の食文化」の更なる浸透が必要

### 2. 輸出事業計画の取組内容

- 欧米における販路拡大に向け、FSSC22000の継続取得、および現地系大型小売業から求められる大量納品に対応した、生産力及び価格競争力を持つ生産設備の導入
- 各国の輸入規制に対応した大量生産可能な新商品開発
- JETROとの連携、TACOMへの加入により、展示会・商談会等へ積極的に参加。ブースではどら焼き・米菓を焼く体験型ブースとして“日本らしさ”を訴求
- 日本食文化の受け入れのため、マネキン販売、試食販売によるプロモーションを実施
- 商品の食べ方やアレンジレシピを説明するSNS用の動画を制作し、通販サイト・海外展示会・商談にて活用

### 3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



## 輸出事業計画

※申請者名：丸京製菓株式会社 品目：菓子

## 4. 輸出目標額

|        | 【現状】<br>(令和3年)         | 【目標】<br>(令和6年)         |
|--------|------------------------|------------------------|
| 輸出額(円) | 6億                     | 7億                     |
| 輸出量(t) | 1,050                  | 1,225                  |
| 主な輸出先  | 北米・中国・韓国・<br>EU・東南アジア等 | 北米・中国・韓国・<br>EU・東南アジア等 |

- ・北米・EU・東南アジアへの販路拡大により、現状の117%の輸出額を目指す